2025年12月10日

報道関係　各位

地域社会と連携しながら継続的に環境美化に取り組む全国の小・中学校を表彰

「第26回 環境美化教育優良校等表彰事業」最優秀校4校ほか決定

【最優秀校】

文部科学大臣賞	宮城県	南三陸町立名足(なたり)小学校
農林水産大臣賞	鹿児島県	阿久根市立脇本小学校
環境大臣賞	新潟県	長岡市立寺泊(てらどまり)小学校
特別賞 協会会長賞	沖縄県	伊平屋(いへや)村立伊平屋中学校

清涼飲料・ビールなど飲料業界6団体で構成する、公益社団法人食品容器環境美化協会（略称：食環協、会長：田中 美代子）は、本年度の「環境美化教育優良校等表彰事業」において、都道府県より推薦を受けた全国の小・中学校等（以下、小・中学校）の中から最優秀校4校、優秀校6校、優良校23校を選定し、表彰いたします。

この表彰事業は、独創的な環境美化教育に継続的かつ熱心に取り組み、地域社会と連携しながら「公共の場所の美化」または「飲料あき容器等のリサイクル」を実践することにより、地域の環境美化に大きく寄与している小・中学校を選出し表彰するものです。

最優秀校4校は、都道府県より推薦された中から審査委員会による厳正な審査を経て、「文部科学大臣賞」「農林水産大臣賞」「環境大臣賞」「特別賞 協会会長賞」にそれぞれ決定いたしました。

今回の最優秀校で特徴的なのが、4校いずれも校舎が海の近くにあり、海岸の漂着ごみを回収する活動を柱に据えて継続している点です。加えて、それぞれの地域特性や実情に合わせ、地域団体や住民と連携しながら、生徒や児童が主体的に豊かな海の環境や資源、動植物の保護活動に努めている点が高く評価されました。

とりわけ、文部科学大臣賞を受賞した宮城県南三陸町立名足小学校は、東日本大震災で校舎が津波により被災。しばらく近隣の小学校の校舎に間借りしていましたが、住民の熱い要望もあり、県内で最も早い現地復旧を果たしました。それがかなったのも、長年にわたる海岸清掃活動などを通じて、学校と地域の絆が築かれており、「地域の宝」である子どもたちへの協力を惜しまない住民の姿勢が際立っていたからです。

本年度は、この表彰事業を開始してから26回を数えます。今回、推薦された33校は、いずれも地域を見据え、できることに挑戦し続け、足元から着実に成果を上げています。海や川、山などの自然を守るために行う保全活動、自分たちが住む町をきれいにし、明るくするために住民と協力しながら実施する清掃活動、限りある資源を有効活用しようと創意工夫を重ねた取り組みなど、児童生徒が主体となって継続して行っている力強い姿が全国各地で見受けられました。

表彰式は2026年1月30日（金）、「浅草ビューホテル」（東京都台東区）にて最優秀校4校を招いて開催いたします。

式典では、各受賞校の活動の様子を、児童生徒、教師、地域住民などのインタビュー映像を通してご紹介しながら、生き生きと取り組む児童・生徒の前向きな姿や教師の思い、サポートする地域住民の熱意をお伝えしてまいります。

公益社団法人食品容器環境美化協会は、1973年に設立されて以来、飲料容器の散乱防止とリサイクル推進の啓発を中心とした環境美化の推進に努めてまいりました。日本の環境が美しくなることを目的として、「環境教育の支援」「ポイ捨て防止の啓発」ならびに「アダプト・プログラムの推進」などの事業を展開しています。

「環境美化教育優良校等の表彰事業」は、「環境美化教育の促進」および「地域の環境美化の啓発」を目的に2000年度から開始し、本年度が26回目となります。

環境教育への取り組みが年々重要になる中で、本年度も全国の都道府県から、独創的な環境美化教育に熱心に取り組み、校内だけでなく地域社会と連携して環境美化に大きく貢献する活動の実践に努めている小・中学校が多数推薦されました。これら各校の活動内容を、審査委員会において厳正に審査した結果、このたび4校が最優秀校、6校が優秀校、23校が優良校として選定され、表彰の運びとなったものです。

■　本年度の各都道府県からの推薦状況

環境美化につながる散乱防止活動またはリサイクル推進活動を継続している小・中学校から都道府県が1校を推薦する方式

	合計
推薦があった都道府県数	33
推　薦　校　数	33

■　本年度審査結果

審査委員会による審査の結果、受賞校を以下の通り決定

	受賞校数
最　優　秀　校	4
優　　秀　　校	6
優　　良　　校	23

＜最優秀校＞　　4校

文部科学大臣賞　　宮城県　　南三陸町立名足（なたり）小学校

農林水産大臣賞　　鹿児島県　阿久根市立脇本小学校

環境大臣賞　　新潟県　　長岡市立寺泊（てらどまり）小学校

特別賞　協会会長賞　沖縄県　　伊平屋（いへや）村立伊平屋中学校

■最優秀校の活動概要（詳細はP7以降参照）

環境美化につながる散乱防止活動またはリサイクル推進活動	
文部科学大臣賞	宮城県　南三陸町立名足（なたり）小学校
	漂着物が多い歌津・長須賀海岸の清掃活動を40年以上にわたり行っている。保護者をはじめ、住民や宮城県漁協歌津支所、宮城県漁協婦人部、南三陸警察署歌津駐在所などさまざまな団体の協力で行われているのが特徴だ。海岸清掃後は、きれいになった海岸で地引き網を体験。網の中には昨今の温暖化による影響で、暖流性の魚が入っていることがあり、その場で環境問題を考える貴重な時間にもなっている。また、学年に応じて志津川湾の干潟調査や森林と海や川との関係、ワカメやホタテの養殖体験といった、地域資源を生かした独自の教育プログラムを展開。6年生は、各学年の学びの集大成として持続可能な町づくりについて取り組みながら、ふるさとの海や自然環境を守り、後世に伝えていこうという意欲を培っている。そうした姿を見守る住民たちの環境意識も高まるなど相乗効果が生まれている。
農林水産大臣賞	鹿児島県　阿久根市立脇本小学校
	ウミガメやシロチドリの産卵地である脇本海水浴場（下村海岸）が近くにある同校。近年シロチドリの個体数が激減している主な原因が、漂着ごみや伸びた草であることを学んだ児童は、NPO法人脇本海岸ウミガメ・シロチドリ会の協力を得て、海岸清掃を行っている。最近では、海洋ごみがウミガメに与える影響についても学びを深め、海岸に散乱するマイクロプラスチックの回収実験に挑戦。また、海とつながる川に着目し、NPO法人くすの木自然館の指導の下で、新田川河口の干潟の生物調査にも取り組む。そうした体験学習を通じ、ウミガメ・シロチドリの保護の必要性を児童は痛感。啓発ポスターや産卵地保護の看板を製作し、住民とともに海岸に設置。活動の様子をブログや学校便りで発信することにより、海岸清掃に自主的に参加する住民が増えるなど、地域全体の環境保全に寄与している。
環境大臣賞	新潟県　長岡市立寺泊（てらどまり）小学校
	海が近い恵まれた環境下、寺泊町商工会や寺泊漁港、寺泊コミュニティーセンターなどの協力を得て、環境問題の課題解決につながる多様な体験を行っている。中でも、150人以上が参加して実施する海岸清掃では、回収した漂着ごみを学校に持ち帰り、6年生が分別しながらごみを掲示し、身近にある海の問題と向き合っている。同時に、海の豊かさを実感する活動も活発で、地域イベントでは、シーグラスや貝殻などを使って児童が講師となり住民に向けてアクセサリー作り教室を開催。また、海をテーマにした標語コンテストを児童が企画し、地域から集まった100以上の標語の審査も児童が行う。地域資源に目を向けた体験学習では、魚市場やセリ見学、寺泊沖の海水での塩作り、地域食材で自給率100%を目指す食育など、住民の支援体制が欠かせない取り組みが充実し、地域活性化にも一役買っている。
特別賞 協会会長賞	沖縄県　伊平屋（いへや）村立伊平屋中学校
	地域のために役立ちたいという生徒の自発的な意思から始めた学校周辺の清掃活動。あいさつ運動とともに、毎朝欠かさず実施し、学校生活の一部として定着している。同校は、観光客が利用するフェリー乗り場に近く、伊平屋島の第一印象を良くする上でも重要な役割を果たしている。月初めの1週間は、村内放送で生徒が協力を呼びかけ、多くの住民が清掃活動に参加するなど、地域を巻き込んで実施しているのが特徴だ。先輩から後輩へ引き継がれるこうした取り組みは年々深化し、沖縄県で盛んなボランティア「SDGsパスポート」活動へと発展。具体的には、部活動の遠征先などで、自主的に清掃活動を行いながら美化意識を育んでいる。中には30回以上のボランティアに励み、その取り組みが高く評価された生徒もおり、波及効果で生徒一人ひとりの社会的責任感を養う貴重な機会となっている。

■その他受賞校:

＜優秀校＞　　協会会長賞　6 校

北海道	北海道紋別養護学校	岩手県	岩手県立盛岡みたけ支援学校 奥中山校
石川県	穴水町立穴水小学校	岐阜県	関市立津保川(つぼがわ)中学校
岡山県	和気町立本荘(ほんじょう)小学校	高知県	大月町立大月小学校

＜優良校＞　　協会会長賞　23 校

青森県	十和田市立十和田湖小学校・十和田市立十和田湖中学校		
秋田県	秋田県立稲川(いなかわ)支援学校	山形県	鮭川村立鮭川中学校
福島県	白河市立表郷(おもてごう)中学校	群馬県	藤岡市立美九里(みくり)東小学校
千葉県	市川市立大野小学校	東京都	豊島区立西池袋中学校
富山県	氷見市立窪小学校	山梨県	富士河口湖町立小立(こだち)小学校
長野県	安曇野市立堀金小学校	静岡県	静岡県立東部特別支援学校 伊東分校
愛知県	名古屋市立大清水小学校	滋賀県	大津市立逢坂(おうさか)小学校
大阪府	千早赤阪村立千早小吹台(ちはやこぶきだい)小学校	兵庫県	三田市立すずかけ台小学校
和歌山県	田辺市立龍神中学校	鳥取県	倉吉市立打吹(うつぶき)小学校
島根県	島根県立盲学校	徳島県	徳島市応神(おうじん)小学校
愛媛県	四国中央市立豊岡小学校	佐賀県	佐賀市立北川副(きたかわそえ)小学校
大分県	大分市立鶴崎中学校	宮崎県	延岡市立緑ヶ丘小学校

■表彰授与

●最優秀校 4 校の表彰式は、下記にて行います。

- 2026 年 1 月 30 日（金）15:30～17:00（受付　14:30～）
- 浅草ビューホテル　3 階「祥雲の間」
  東京都台東区西浅草 3-17-1　電話 0570-003-235
  https://www.viewhotels.co.jp/asakusa/　＊つくばエクスプレス「浅草駅」直結
- 懇談会　17:30～19:00　28 階「ベルヴェデール」

●優秀校ならびに優良校については、各地にて、食環協地方連絡会議員が相談の上、各受賞校にて表彰伝達式を開催する予定です。

2-15-16 Shibaura, Minato-ku, Tokyo 108-0023 Japan TEL:03-5439-5121 FAX:03-5476-2883 ✉:bika@kankyobika.or.jp
公益社団法人食品容器環境美化協会〒108-0023 東京都港区芝浦 2-15-16 田町 K・S ビル 6F
https://www.kankyobika.or.jp/　お問い合わせは☞

環境美化教育優良校等表彰事業の概要

■ 主　　催：公益社団法人 食品容器環境美化協会

■ 後　　援：文部科学省、農林水産省、環境省

■ 表彰の対象：環境美化教育に独創的・継続的かつ熱心に取り組み、「公共の場所の美化」または「飲料あき容器等のリサイクル」を実践し、地域の環境美化に大きく寄与している小・中学校、およびこれに準ずる小・中学生の団体（以下「小・中学校」）

■ 表　　彰：

- ● 最優秀校　文部科学大臣賞　1校
- ● 最優秀校　農林水産大臣賞　1校
- ● 最優秀校　環境大臣賞　1校
- ● 最優秀校　特別賞　協会会長賞　1校

✧ 賞状と副賞を贈呈

✧ 上記の他、「優秀校」「優良校」に対し、協会会長賞として賞状と副賞を贈呈

■ 推薦・審査：都道府県の環境整備主管部局、または教育主管部局が推薦する小・中学校を審査委員会で審査

■ 審 査 委 員：

［審査委員長］	小澤　紀美子	東京学芸大学名誉教授 公益社団法人 こども環境学会 顧問
［審査委員］	國分　重隆	明星大学 教育学部 教職担当客員教授
	長塚　真行	公益財団法人 日本容器包装リサイクル協会 業務執行理事
	波田　真由美	公益社団法人 食品容器環境美化協会 企画委員 一般社団法人 日本果汁協会 検査所長
	廣木　雅史	公益財団法人 日本環境協会 専務理事
	町田　純	公益社団法人 食品容器環境美化協会 企画委員 サントリーホールディングス株式会社 サスティナビリティ経営推進本部（地域共創）企画推進グループ担当部長
	吉野　美子	一般社団法人 JEAN 理事

（50音順 敬称略）

公益社団法人食品容器環境美化協会の概要

■ 沿革

- 1973 年（昭和 48 年）　任意団体「食品容器環境美化協議会」として発足
- 1982 年（昭和 57 年）　社団法人「食品容器環境美化協会」（農林水産大臣設立認可）
  体制整備を図り、事業活動を強化するため公益法人化
- 2011 年（平成 23 年）　公益社団法人「食品容器環境美化協会」（内閣府認可）
  公益法人制度の改革に伴い、内閣総理大臣から公益社団法人の認定を受け、「公益社団法人」として再発足

■ 主な活動：

○ 新しいまち美化手法「アダプト・プログラム」の普及と推進活動

○ 小・中学校でのパソコン学習支援サイト「まち美化キッズ」の運営、教育者向け「環境美化　学習ガイド」の制作提供等の次世代への環境教育支援　https://www.kankyobika.or.jp/kids/

○ 市民団体等による環境美化活動への支援

○ 「ポイ捨て防止」啓発活動

○ 散乱ごみ対策の調査・研究　等

■ 構成団体：

- 一般社団法人　全国清涼飲料連合会　https://www.j-sda.or.jp/
  清涼飲料水製造・販売事業者及びその関連事業者、並びにその事業発展に貢献する事業者等からなる社団法人
- 一般社団法人　全国トマト工業会　https://www.japan-tomato.or.jp/
  トマト及びにんじん等の加工製造に関係を有する個人又は団体からなる社団法人
- 一般社団法人　日本果汁協会　http://www.kaju-kyo.ecnet.jp/
  果汁又は果実飲料に関係を有する事業を行う者又はこれらの者をもって組織する団体等からなる社団法人
- 日本コーヒー飲料協会
  コーヒー飲料メーカーなどからなる任意団体
- コカ・コーラ協会
  日本コカ・コーラ社と全国のコカ・コーラボトリング社からなる任意団体
- ビール酒造組合　https://www.brewers.or.jp/
  アサヒビール、キリンビール、サッポロビール、サントリー、オリオンビールのビール 5 社による特別認可法人

■本件に関するお問い合わせ先■

公益社団法人食品容器環境美化協会（食環協）
担当：棚橋
TEL.　090-6003-4903　　E.MAIL tanahashi@kankyobika.or.jp
ホームページ　https://www.kankyobika.or.jp/